

千代田区 中小企業の景況【概要版】

～令和6年4月～6月期～

【発行】千代田区地域振興部商工観光課
 【調査機関】一般社団法人 東京都信用金庫協会
 【分析委託業者】株式会社 東京商工リサーチ

[回答事業所数の業種別内訳]

	有効回答事業所数
製造業	34
卸売業	50
小売業	27
サービス業	39
建設業	28
不動産業	36
業種計	214

判断表 業種別定点指標値(マークの基準は業況判断D.I季節調整済修正値で判断)

	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下
卸売業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下
小売業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31~-40	-41以下
サービス業	15以上	14~5	4~-5	-6~-15	-16~-25	-26~-35	-36以下
建設業	20以上	19~10	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31以下
不動産業	10以上	9~0	-1~-10	-11~-20	-21~-30	-31~-40	-41以下

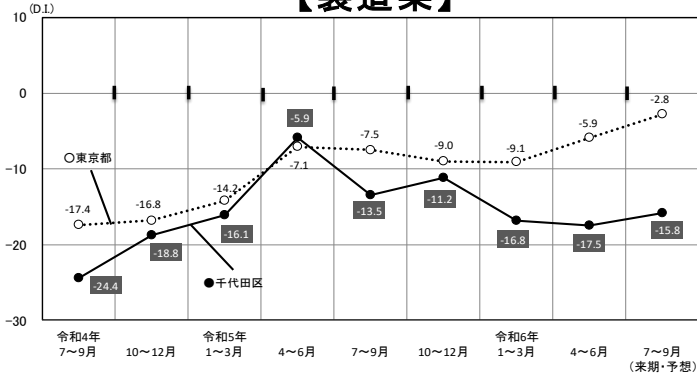
好調 ←-----→ 不調

※小数点第一位を四捨五入の上、上記判断表に基づき分類を行っている。

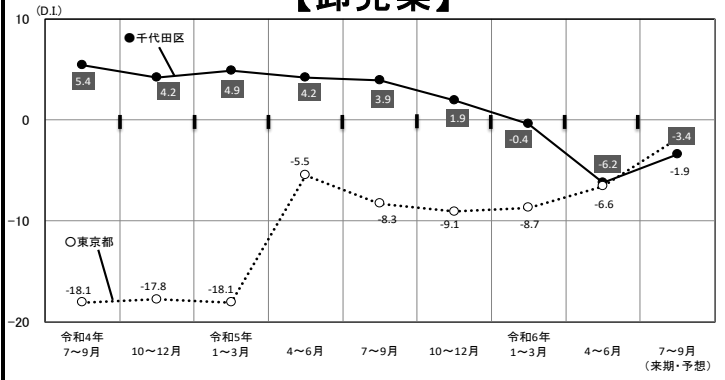
製造業	今期		E -17.5	業況は前期並となった。売上額は減少幅が大きく縮小し、改善した。収益は前期並となった。価格面では、販売価格、原材料価格はともに上昇が大きく強まった。在庫は前期並となった。
	来期		E -15.8	来期の見通しについて、業況は今期同様で推移すると予想されている。売上額は増加に転じ、収益は減少が大きく弱まる見通しである。
卸売業	今期		D -6.2	業況は低調感がやや強まり、悪化した。売上額は増加幅がやや縮小し、収益は減少が大きく強まり、ともに悪化した。価格面では、販売価格、仕入価格はともに上昇がやや強まり、在庫は過剰感がやや改善した。
	来期		D -3.4	来期の見通しについて、業況は厳しさがやや和らぐと予想されている。売上額は増加幅がやや縮小し、収益は減少がやや強まる見通しである。
小売業	今期		E -24.4	業況は厳しさがやや和らぎ、改善した。売上額は前期並となった。収益は減少がやや弱まり、改善した。価格面では、販売価格は上昇に転じ、仕入価格は上昇が大きく強まった。在庫は不足感がやや強まった。
	来期		D -19.4	来期の見通しについて、業況は厳しさがやや和らぐと予想されている。売上額、収益はともに減少が大きく弱まる見通しである。
サービス業	今期		D -6.4	業況は低調感がやや強まり、悪化した。売上額、収益はともに前期並となった。価格面では、料金価格は上昇が極端に強まり、材料価格は上昇が大きく強まった。
	来期		B 13.4	来期の見通しについて、業況は好転すると予想されている。売上額、収益はともに増加傾向を大きく強める見通しである。
建設業	今期		A 40.9	業況は好調感が大きく強まり、改善した。売上額は増加幅が極端に拡大し、収益は増加傾向を大きく強め、ともに改善した。価格面では、請負価格は上昇がやや弱まり、材料価格は上昇が極端に強まった。在庫は過剰感がやや強まった。
	来期		A 48.6	来期の見通しについて、業況は好調感が大きく強まると予想されている。売上額、収益はともに増加幅が極端に縮小する見通しである。
不動産業	今期		B 0.5	業況は好転し、改善した。売上額、収益はともに増加に転じ、改善した。価格面では、販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は上昇が大きく弱まった。在庫は不足感がやや改善した。
	来期		B 4.0	来期の見通しについて、業況は好調感がやや強まると予想されている。売上額は増加幅が極端に拡大し、収益は増加傾向を大きく強める見通しである。

千代田区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測

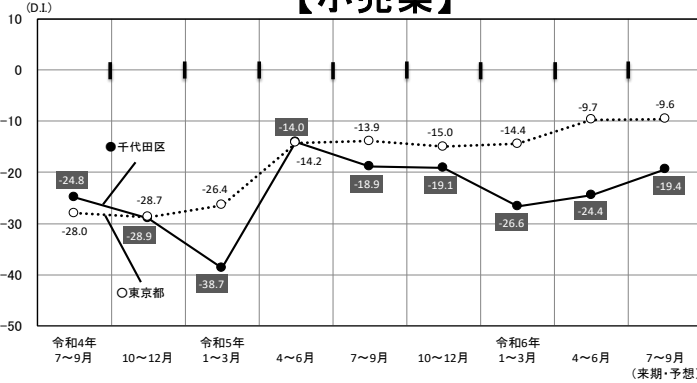
【製造業】



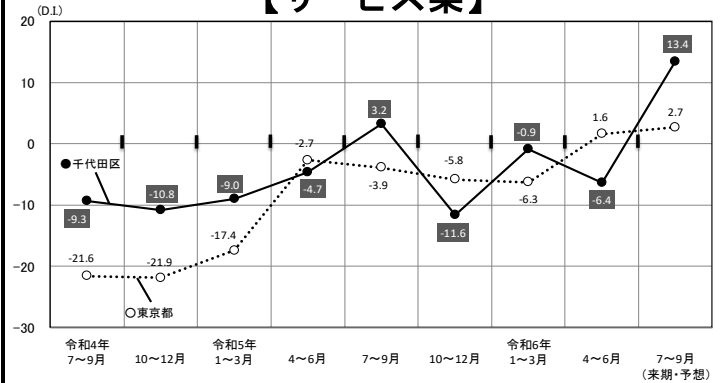
【卸売業】



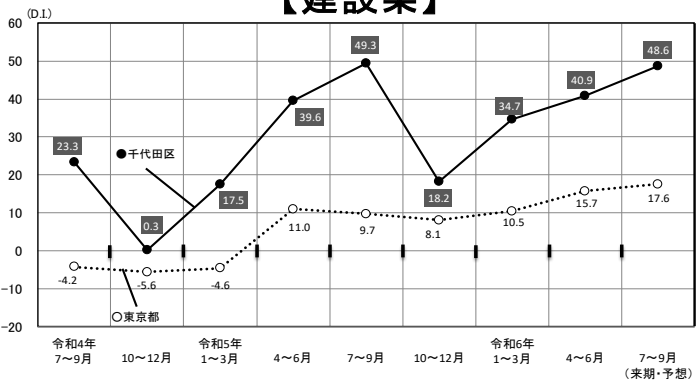
【小売業】



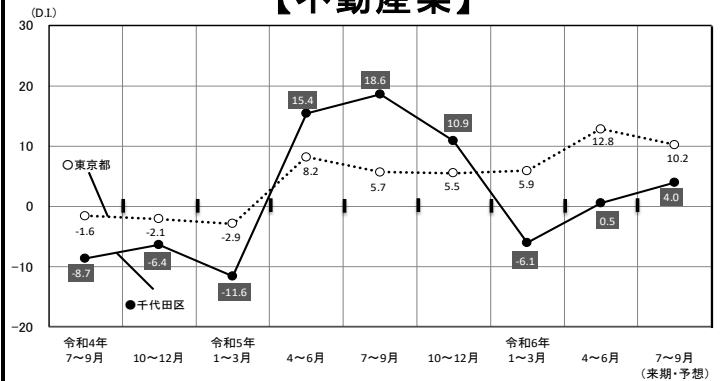
【サービス業】



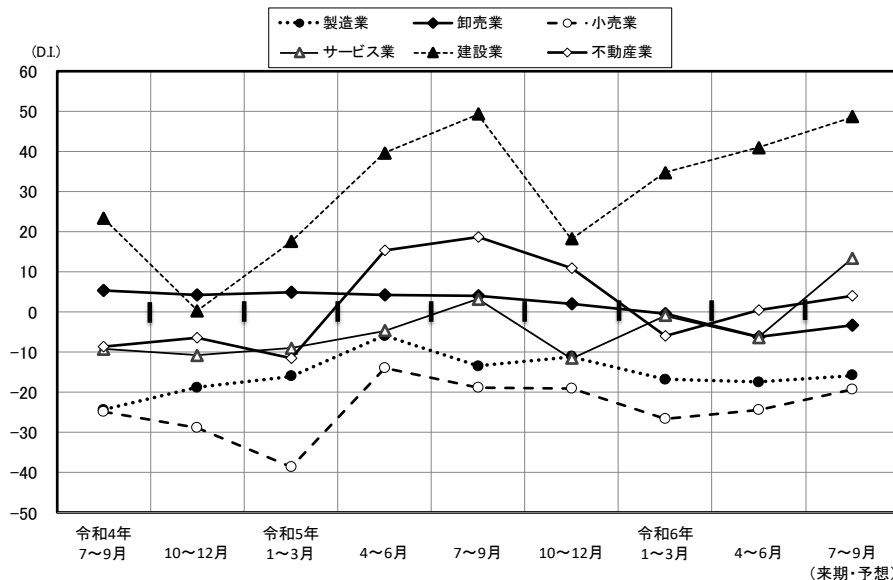
【建設業】



【不動産業】



【千代田区全業種】



千代田区 業種別 経営上の問題点

製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
売上の停滞・減少	50.0 %	売上の停滞・減少	52.0 %	売上の停滞・減少	37.0 %	人手不足	38.5 %	材料価格の上昇	42.9 %	商品物件の高騰	36.1 %
原材料高	23.5 %	利幅の縮小	30.0 %	同業者間の競争の激化	18.5 %	売上の停滞・減少	25.6 %	人手不足	39.3 %	同業者間の競争の激化	25.0 %
利幅の縮小	17.6 %	仕入先からの値上げ要請	26.0 %	人件費以外の経費の増加	14.8 %	人件費の増加	23.1 %	人件費の増加	21.4 %	売上の停滞・減少	19.4 %
人手不足	14.7 %	同業者間の競争の激化	22.0 %	仕入先からの値上げ要請		同業者間の競争の激化	20.5 %	同業者間の競争の激化		利幅の縮小	16.7 %
仕入先からの値上げ要請	11.8 %	為替レートの変動	16.0 %	利幅の縮小		利幅の縮小	17.9 %	人件費以外の経費の増加	7.1 %	人手不足	13.9 %
同業者間の競争の激化				大型店との競争の激化				売上の停滞・減少			

千代田区 業種別 重点経営施策

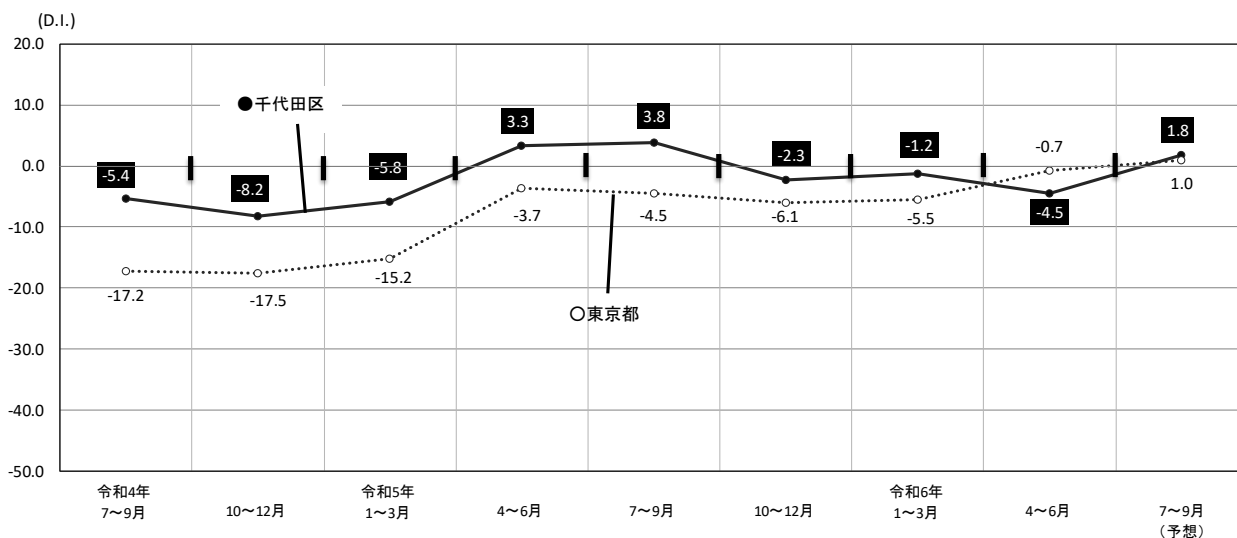
製造業		卸売業		小売業		サービス業		建設業		不動産業	
販路を広げる	55.9 %	販路を広げる	62.0 %	経費を節減する	48.1 %	販路を広げる	48.7 %	経費を節減する	50.0 %	販路を広げる	50.0 %
経費を節減する	32.4 %	経費を節減する	38.0 %	宣伝・広告を強化する	22.2 %	人材を確保する	41.0 %	人材を確保する	35.7 %	経費を節減する	44.4 %
情報力を強化する	14.7 %	人材を確保する	18.0 %	品揃えを改善する		経費を節減する	25.6 %	販路を広げる		情報力を強化する	30.6 %
不動産の有効活用を図る	8.8 %	提携先を見つける		人材を確保する	11.1 %	技術力を強化する	12.8 %	技術力を高める	17.9 %	宣伝・広告を強化する	19.4 %
提携先を見つける		情報力を強化する	14.0 %	売れ筋商品を取り扱う		提携先を見つける	10.3 %	情報力を強化する	14.3 %	人材を確保する	13.9 %
				新しい事業を始める							

千代田区と東京都の業況の動き

千代田区の今期の業況判断 D.I. (季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合) は-4.5 と前期 (令和 6 年 1～3 月) の-1.2 に比べ 3.3 ポイント減少し、低調感がやや強まった。

東京都の業況と比較すると、今期は千代田区が東京都を 3.8 ポイント下回った。業種別で比較すると、小売業 (14.7 ポイント)、不動産業 (12.3 ポイント)、製造業 (11.6 ポイント) で、千代田区が東京都を 10 ポイント以上下回った。一方、建設業 (25.2 ポイント) で、千代田区が東京都を 20 ポイント以上上回った。

千代田区の来期 (令和 6 年 7～9 月) の業況見通しは 1.8 と、今期よりも 6.3 ポイント増加し、好転すると予想されている。東京都の来期の業況見通しは 1.0 であり、比較すると千代田区が 0.8 ポイント上回り、差は今期に比べ小さくなる見込みである。

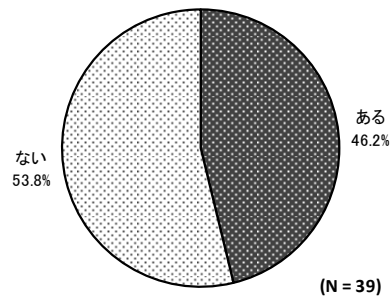


千代田区独自調査「区内景況にかかると情報について」

東京商工会議所千代田支部において、千代田区内の企業に対し、「区内景況にかかると必要情報」に関するアンケートを実施し、39社より回答を得た。各設問の調査結果は以下の通り。

概要	①千代田区ホームページ「千代田区中小企業の景況」から景況報告書の閲覧の有無	「ある」46.2%、「ない」53.8%
	②関心のある情報内容	「業況」71.8%、 「雇用」「経営上の問題点」各43.6% 「設備投資動向」23.1%

図表1 千代田区ホームページ「千代田区中小企業の景況」から景況報告書の閲覧の有無



図表2 関心のある情報内容

